



架け橋

第7号

(令和3年10月1日発行)

ホームページ：<http://mihashi-j.saitama-city.ed.jp/>

E-mail：mihashi-j@saitama-city.ed.jp

学校教育目標：ゆたかに・かしこく・たくましく

「もののあはれは秋こそまされ」

校長 芳崎 正道

厳しかった猛暑も一段落し、涼しく心地よい秋の風が感じられるようになりました。「暑さ寒さも彼岸まで」と言いますが、まさにそのとおりだったと実感します。本校の「彼岸花」も、本格的な秋の到来を待ちわびていたかのように、正門の坂を下りた左手にかわいらしく咲いています。「彼岸花」は「曼珠沙華」とも言われ、各地の観光名所となっているところもあるほど、初秋の名物です。



彼岸花
(正門坂下左)

マリーゴールド
(正門右)

さて、秋本番を迎えます。いにしえから、『もののあはれは秋こそまされ』（「徒然草」）とされています。これは、しみじみとした趣、味わいは四季の中で秋が一番優れているという意味です。「読書の秋」「スポーツの秋」「食欲の秋」など、さまざまな「〇〇の秋」という言葉があります。過ごしやすく快適な気候のもと、吹く風も心地よく、空は澄み切って高く、目に入る景色もすばらしいこと。ものごとに集中できること。植え付け育てた作物が成長し実って収穫となること。こうしたことが、「〇〇の秋」がたくさんある所以と言えるでしょう。

学校でも、本来であれば、年度も折り返し点を迎え、各種行事や活動を通し、年度当初の4月に比べて、子どもたちにも成長の跡がうかがえる頃です。加えて、学業・スポーツ・芸術等に集中できるため、それこそ「実り」「収穫」が表れる頃でもあります。過去の教員生活を振り返ると、秋のこの時期、子どもたちの成長・進歩・向上の兆しをつぶさに実感したものです。

ところが、残念ながら、新型コロナウイルス感染防止のため、ハイブリッド授業の実施や学校生活での様々な制限のもと、新人戦を始め、各種行事を中止や延期とせざるを得ない状況で、子どもたち自身も、「実りの秋」を実感しづらいところです。

そんな中ですが、すでに御案内のとおり、本校では、体育祭を10月5日（火）、合唱コンクールを10月30日（土）に実施いたします。体育祭は、演技・競技の精選、合唱コンクールは合唱時マスク着用・会場参観人数制限・オンラインによる教室参観等、様々な感染拡大防止対策を施したうえでの開催となります。また、10月26日（火）には、市駅伝大会が開催の予定です。子どもたちは、緊急事態宣言のさなかではありますが、感染防止を図りながら、体育祭・合唱コンクール、そして駅伝大会に向け、日々がんばっています。

いずれの行事も、保護者の方々や地域の方々には、これまで同様、参観を御遠慮いただくこととなります。御理解・御協力いただきますよう、お願い申し上げます。

銀メダル獲得おめでとうございます！ 本校卒業生・赤石竜我選手が大活躍をした、東京パラリンピックの「男子車いすバスケットボール」で、日本代表が史上初の銀メダルを獲得しました。見事な快挙、おめでとうございます！（近日中に、銀メダル獲得をお祝いする「垂れ幕」を校舎に張り出す予定です。）